

コード	402080102
記入日	H23.6.6

課コード	115
課名	農林課
課長名	幹保孝
担当者	古川利久

事務事業事後評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	ながさき県民参加のもりづくり事業
----------	------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 22 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40208	基本事業名称	森林の公益的機能の維持増進	目コード	2
事務事業コード	4020801	事務事業名称	みどり思想の啓蒙普及事業費	細目コード	918
関連計画		法令・条例規則等	長崎県補助金等交付要綱、ながさき県民参加のもりづくり事業実施要領		

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町内中学校 (2校)		(対象指標1)	200人			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
****	・ 県産材を使用した机椅子の導入 →126セット ・ 森林学習の実施 →間伐等体験	① 机椅子導入セット数	126セット	82.4%	机椅子導入セット数+計画した机椅子導入セット数	**** 平成22年度
		(達成率分析)	上五島中学校、有川中学校を対象に木製の机椅子を計画どおり導入した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
	・ 生徒の森林学習の実施による理解と知識の向上、人や環境に配慮する心を森林学習を通じて、豊かな人間形成を図り、郷土(地域環境)愛を育むことを目的とする。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 森林学習回数	2回	200%	森林学習実施回数+森林学習計画回数	**** 平成22年度
		(達成率分析)	上五島中学校、有川中学校を対象に森林学習を計画どおり開催した。			
		② 森林学習参加人数	194名	97%	森林学習参加人数+計画した森林学習参加人数	**** 平成22年度
		(達成率分析)	上五島中学校、有川中学校生徒を含め194人の参加者で環境に与える森林の働き間伐体験を実施した。			

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 19 ~ H 22		21年度以前 実績	22年度		
		計画	実績		計画	実績	
活動指標	① セット	482	449	323	153	126	
	②						
成果指標	① 回	5	6	4	1	2	
	② 人	818	552	358	200	194	
総事業費 C (A+B)	千円	21,730	21,588	14,183	7,547	7,405	
直接事業費 A	千円	13,330	13,188	9,283	4,047	3,905	
人件費 B	千円	8,400	8,400	4,900	3,500	3,500	
内訳	従事職員数	人	1.2	1.2	0.5	0.5	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円					
	県補助金	千円	6,657	6,623	4,657	2,000	1,966
	起債	千円					
	その他	千円					
一般財源	千円	15,073	14,965	9,526	5,547	5,439	

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	次世代 (生徒) に環境問題に対する知識の向上、人や環境に配慮する心を森林学習を通じて理解し育てるために必要である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理由	環境問題は、世界的な問題となっているため、次世代 (生徒) に対する森林学習は必要である。
	・事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい いいえ	理由	森林の重要性が再認識され、地球環境について考える力を養うことが目的であり適切である。
有効性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理由	森林の重要性が再認識され、生徒達の感想から一定の学習の成果はあり目的は達成された。
	・成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	森林環境学習の内容や体験などを変更するなどして実施し、生徒達の感想から一定の学習の成果があり向上する余地はない。
	・事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい いいえ	理由	他校との平等性や森林とのふれあいはめったに体験することができない。
	・類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	専門的な部分が多く、他の業種との共同統合はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	県の補助金を活用しているため、可能な限り経費についての削減を図った。
	・人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい いいえ	理由	最小の人員で行っており削減できない。
	・受益者負担は適正でしたか。	● はい いいえ	理由	受益者負担は発生しない。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点	特になし。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策	特になし。
2 次 評 価	環境問題については、これからの社会において考えなければならないことであるため、引き続き森林の重要性や環境学習に努めること。	

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。